



近藤じゅん子通信 Vol.13

区議会公明党の提案で認知症予防対策が大きく前進!!

**停電対策に避難所への充電蓄電池を配備！
子育てネウボラ拡充で若年ママを応援！**

第4回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和元年11月21日(抜粋・趣意)

防 災

防災蓄電池について

質問 台風15号、19号、そして未曾有の豪雨が続く昨今、今までにない水害による大停電が起きております。

第2回定例会において我が会派が提案した、避難所へのスマートフォン等の充電用蓄電池の配備について、昨今の相次ぐ災害に、待ったなしの配備が必要となっており、再度提案をさせていただきます。

答弁 (区長) 議員のご提案の蓄電池の備蓄については、来年度、各避難所に大容量の蓄電池を配備することを検討しております。



渋谷区子育てネウボラ

育児支援ヘルパー派遣事業について

質問 公明党の提案で12年前に

スタートした「にこにこママ」育児ヘルパー派遣事業。

妊娠中で体調のすぐれない方や、出産後、家事や育児が困難な場合に、ベビーシッター等を派遣しサポートしています。

様々な要因により、産後に家族や隣近所の助けを借りることが難しくなってきたり、出産直後、日常生活のサポートは圧倒的に不足しています。

また、孤独に育児と向き合いがちな母親が増えていく今、特に不安感を抱えやすい出産直後のお母さんを支えるサポートは、産後うつ、児童虐待防止のためにも必要です。

育児と家事の両面を支えられる、利用者ニーズに即した見直しを提案します。

答弁 (区長) 妊婦全数面接時に、保健師が特に必要と判断した妊婦さんには、「にこにこママ」の申請を勧めており、さらに利用実績が増える見込みです。

そのため今後も、利用者の

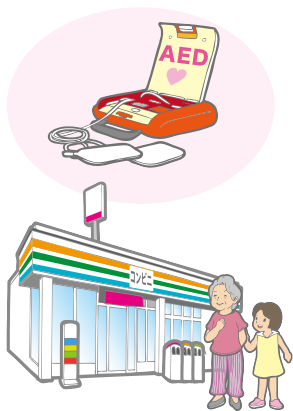
ニーズに応じたシッター派遣が可能となるよう、事業者との丁寧な打ち合わせを行うほか、新規事業者の開拓も努力していきます。

安心・安全なまち

AEDsの設置について

質問 昨年の第4回定例会において我が会派より、コンビニの区内店舗に設置拡大を提案しました。導入に向けて現在までの進捗状況をお伺いします。

答弁 (区長) 現在、㈱セブンイレブン・ジャパン及び、セコム㈱と次年度からのAED設置に向けて協議を進めています。実施店舗数など、今後詳細を詰めていく必要がありますが、次年度の早期に実施できるように、準備を進めていきます。



福 祉

認知症予防について

質問 認知症フォーラムの基調講演で、認知症予防学会理事長・鳥取大学医学部の浦上克哉教授から、開発者として、「とっとり

方式認知症予防プログラム」の取り組みを伺いました。このプログラムの素晴らしいのは、認知機能の改善、身体機能の向上等全てにおいて、優位な解析結果が出ている事。更には、参加をした方は、新たな出会い、安心できる居場所、人生の楽しみ、生きがいを見つけられた方が多かったことです。そこで、①この「とっとり」方式認知症予防プログラムを渋谷区に於いても、速やかに導入していくこと、②通いやすさや、更に地域に支援の輪を広げていく事を鑑み、地域包括支援センターごとに、設置すること、③渋谷区の所管職員を鳥取県に派遣し、プログラムの本質を学ぶことを提案します。

答弁 (区長) 議員のご提言の「とっとり」方式認知症予防プログラム」の導入につきましては、次年度「認知症なつても展」を活用したモデルケースとして実施し、再来年度、区内全域で実施して行きたいと考えています。

場所につきましては、地域包括支援センターごとに開催することも含めた検討をします。また、ご提言を受け、所管職員を視察させたいと思います。



日頃の活動の一部を ご紹介します。



「人生100歳時代」お年寄りが元気な渋谷へ

鳥取県へ「鳥取方式認知症予防プログラム」の行政視察に行ってきました。視察の中で特に感動したのは、「ちょっとボケてて良かったわ」という感想です。最初は拒否感しかなかったが、参加を重ねていく中で、新たな出会い、やりがいが生まれてきたそうです。そして、率先してサポートする側に回ってくださる方が増えたそうです。渋谷区で、温かい支え合いの街づくりを更に広げていきたいです。



鳥取県議会事務局次長と意見交換

区民の皆様の生の声を一つ一つ真剣に

ときわ松町会の「お隣サンデー茶話会」へ。行政書士4名をお迎えし、身近な相続から、成年後見制度やエンディングノートなどのお話しを。高齢者のみならず、知的障がい等のお子様を持つ親御さんにも切実なことです。参加者の皆様が我がこととして捉えて居られました。重要な視点であり、区政に反映したい！と実感しました。



地域の中で支え合う医療と介護の連携を！

新宿区の看護小規模多機能型居宅介護サービス「坂町ミモザの家」を会派で視察しました。

歳を重ね介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けたい…だけど家族には負担をかけたくない…。また、ご家族は施設入所は忍び無い…だけど24時間365日は心身ともに疲れてしまう…。

このサービスは、地域の通える場所にあり、在宅では訪問看護・介護で支えてもらえて、たまにはお泊まりも。正に地域密着の居宅介護サービスなのです。

利用者・ご家族に寄り添った温かなケア。「坂町ミモザの家」は施設ではなく“第二のわが家”。

渋谷区にも、温かい“第二のわが家”を広げていきたいです。



「災害に強いまち渋谷」を目指して

「防災教育指導者育成」、「防災教育指導者育成」(豪雨災害編)を受講しました。

この避難行動シミュレーションゲームを体験しますと、避難に対する具体的な気づきや発見が生まれるのです！防災に対する意識が変わるのです！土砂災害が頻発する広島等、全国から地域防災支援に尽力する方々が集われ大変勉強になりました。更に、本気の防災対策に力を注いでいきます！



現場の声から、子育て・教育を学ぶ

3軒の子育てママ宅を訪問し、ご意見・ご要望を頂いて参りました。「保育の質」「一時保育、短期緊急保育、一時預かり等、更に利用しやすい制度へ」「安心して地域で子育てが出来る環境づくりに向けて、防犯力をあげながら、さりげなく見守る風土が必要」など。

様々なご意見を伺い、また日々悩みながら、良い教育環境を整えていくために、更に子育て・教育施策の充実を図っていかねばと心を新たにしました。



リターナブル食器で環境にやさしく

師走の風物詩、町会餅つき大会へ。豚汁の容器は環境負荷低減のため、リターナブル食器を使用。

10月からスターとした「リターナブル食器利用促進助成金」を活用しています。

リターナブル食器はプラスチックなので扱い易く、災害時などの、水が貴重な場面でも、容器にラップをすれば、繰り返し使えます。



プログラミング教育研究を視察してきました

プログラミング教育研究授業を参観してまいりました。発達の段階に即して、プログラミング的思考を育成し、思考力・判断力・表現力を育み、学びに向かう力、人間性を高める「問題解決型学習」を目指しています。



ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会 委員長
- 自治権確立特別委員会

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507
近藤じゅん子のブログ
<http://ameblo.jp/kondo-junkon>



ホームページ



アメブロ



Twitter



Facebook